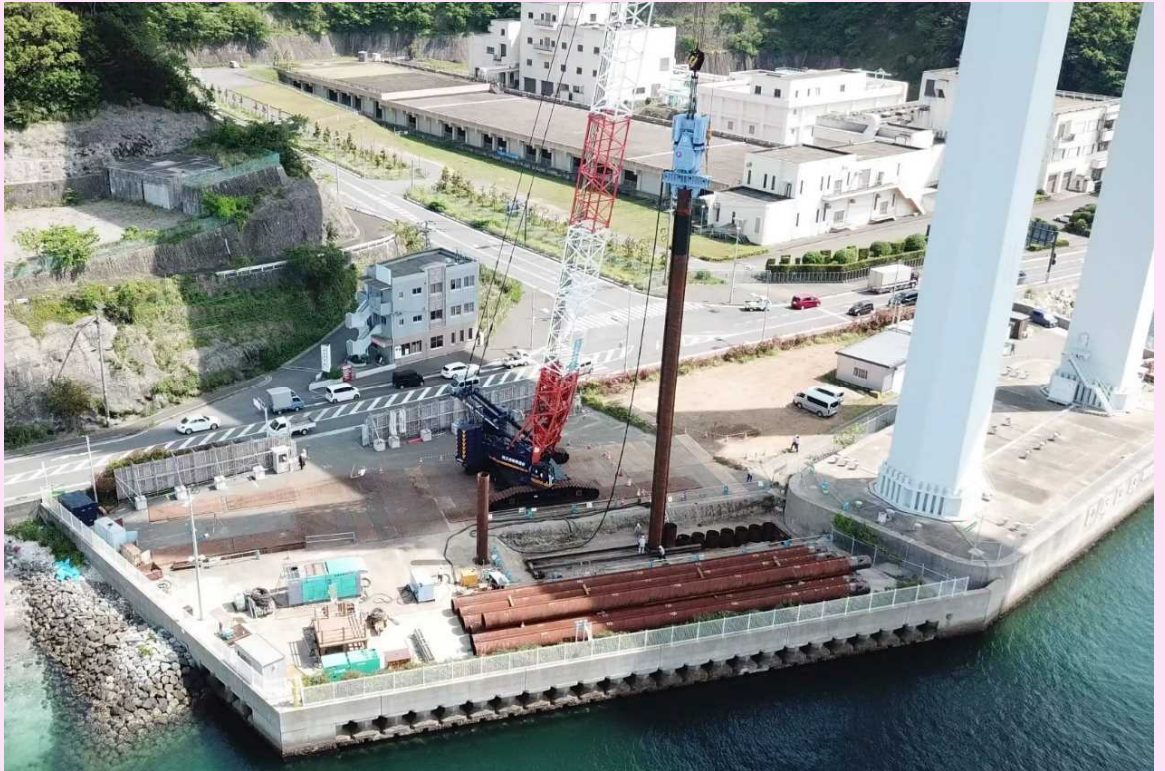


長崎港空NEWS

2021 Spring (春号)

- ・厳原港防波堤(北) 予防保全事業
- ・今回紹介する工事
～長崎港女神地区護岸改良工事～
- ・トピックス
～官民合同による現場見学会～
～フレッシュマン紹介～



巖原港防波堤(北) 予防保全事業

予防保全事業とは？

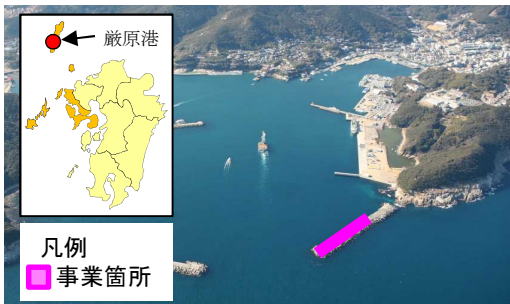
- ① 港湾施設の整備完了後数十年経ち老朽化したことにより、機能が発揮できなくなる事態を防止するために機能の保全及び安全な利用を可能とするための老朽化対策です。
- ② 近年、頻発化・激甚化する台風等を踏まえて見直した設計沖波等により想定される高潮・高波の発生時に、海上交通ネットワークの維持や緊急物資輸送の観点から、重要な施設(岸壁や臨港道路等)が、長期間にわたり供用できない事態を防止するための対策です。

事業の目的

巖原港の第一線防波堤である防波堤(北)は、整備完了後22年経過し、近年の高波浪の影響とみられる消波ブロックの飛散・沈下により、防波堤本来の機能が発揮出来ていない状況です。また昨年度、設計沖波の見直しを行った結果、沖波が整備時よりも大きくなっており、整備時に設置した消波ブロックでは重量が不足していることが判明しました。

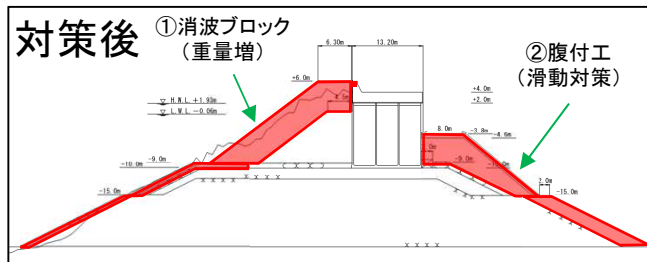
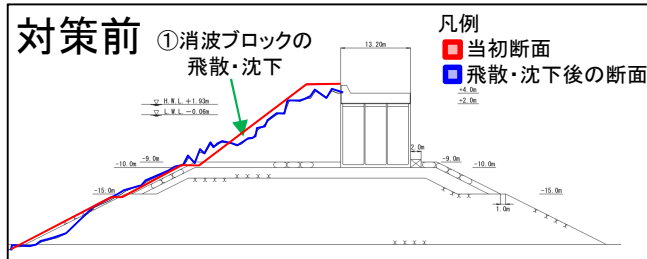
このままでは、台風等による高波が直撃した場合、ケーソンの滑動や転倒などが発生する恐れがあるため、対策として既設より大型の消波ブロックへの見直し、防波堤の背後に腹付工を実施することで防波堤(北)の機能保全を図ります。

事業の概要



消波ブロック飛散・沈下状況

主な対策内容

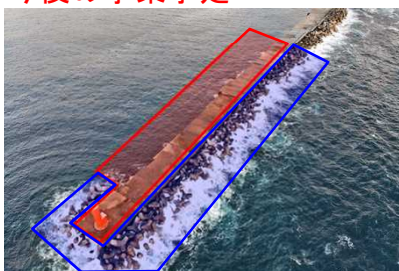


- ① 消波ブロックの飛散・沈下への対策
→ 台風等による高波の被害を防ぐため、現在の消波ブロックより重量が大きい大型の消波ブロックに見直します。
- ② 滑動への対策
→ 台風等による高波が直撃した際の甚大な被害を防ぐため、防波堤の内側に捨て石、被覆石の投入による腹付工を実施します。

整備効果

被災した場合、対馬の暮らしを支えるフェリーやRORO船などの船舶の就航に影響を及ぼす可能性があるため、本事業により船舶の安定した就航が可能となります。

今後の事業予定



凡例

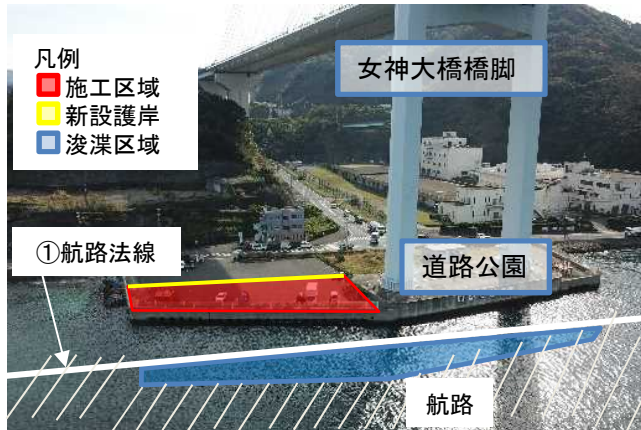
- 令和3年度(予定)
工事内容: 腹付工(ケーソンの滑動や転倒防止対策)
消波ブロック製作
- 令和4年度以降(予定)
工事内容: 基礎工、被覆工、消波ブロック製作・据付

今回紹介する工事

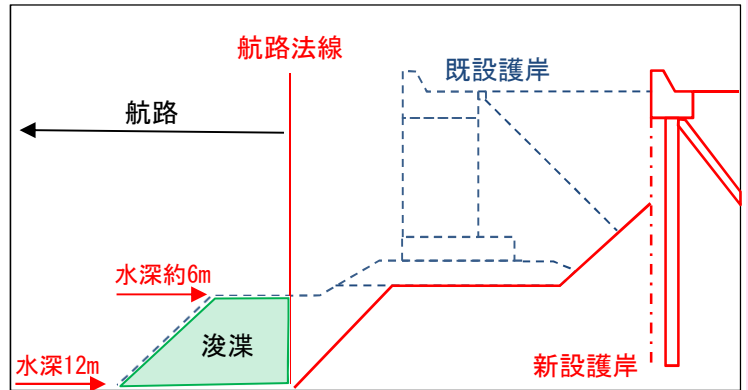
～長崎港女神地区護岸改良工事～

工事の目的

長崎港の航路(船の通る道)は、航路内に水深12mより浅い箇所が存在し、既定の航路幅350mより狭い290mで運用しており、大型クルーズ船が入出港する際には行き会い航行が出来ない状況です。この課題を解決するために、水深及び航路幅確保のための浚渫工事(※1)を行います。本工事は道路公園の護岸を改良し水深12mを確保するものです。



護岸断面図 (概略図)



※1：浚渫とは、港湾や河川の底面をさらい、土砂を取り去る工事のこと

護岸断面図で示すように航路内の浅い箇所を浚渫すると既設護岸の倒壊等の恐れがあるため、護岸改良を行います。

工事の概要

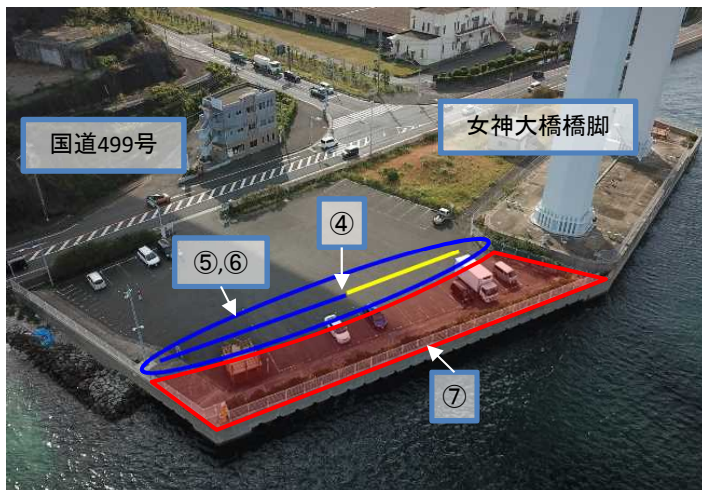
工事の流れ

新設する護岸の構造形式は鋼管矢板式になります。今回の工事の大まかな流れは以下のとおりです。

- ① 構造物撤去工
先行掘削を行う際に支障となるアスファルト舗装版等を撤去
- ② 先行掘削
鋼管矢板打設箇所を先行して掘削し砂に置換
- ③ 土工
鋼管矢板打設、グラウンドアンカー工を施工する際の支障となる土砂を撤去
- ④ 鋼管矢板打設
鋼管矢板を新設護岸のライン上に打設
- ⑤ グラウンドアンカー工
新設する護岸を安定させるため鋼材を地盤に固定
- ⑥ 上部工
鋼管矢板の杭頭部にコンクリートを流し込む
- ⑦ 既設護岸撤去
後退させる護岸のライン上まで、既設護岸を撤去

今年度は⑥上部工までの施工を予定しており、来年度以降⑦既設護岸撤去を行います。

今後の工事予定



凡例

- 完了済
工事内容：④鋼管矢板打設 16本



打設時写真



打設後写真

- 令和3年度(予定)
工事内容：④鋼管矢板打設 23本
⑤グラウンドアンカー工
⑥上部工
- 令和4年度以降(予定)
工事内容：⑦既設護岸撤去

官民合同による現場見学会

3月1日に(一社)長崎県港湾漁港建設業協会、(一社)港湾技術コンサルタンツ協会及び当事務所の若手技術者等による現場見学会等を開催しました。当事務所の若手職員が中心となり事業概要を説明、受注者の協力のもと現場見学会を実施し、その後、「若手技術者を増やすための方策」などのテーマに沿って意見交換を行いました。また、後日、今回の現場見学会についてのアンケートを実施し、「もっと工事内容の説明がほしかった」「次回以降も参加したい」などの意見がありました。いただいた意見は今後の現場見学会に活かしていきたいと思っております。

現場見学・意見交換の様子



護岸の改良工事をしています

検潮所の新設工事をしています

若手技術者を増やすための工夫はどうすればいいですか

コロナ対策としてリモート参加

事務所職員による事業概要の説明

受注者による工事概要の説明

意見交換会の様子①

意見交換会の様子②

フレッシュマン紹介



名前: 上田将史
配属先: 企画調整課
出身地: 福岡県

今年度国土交通省に入省しました、上田将史です。高校生まですと福岡県で過ごし、大学は宮崎県で過ごしました。大学時代は、港湾も含めた土木環境全般を学びました。国土交通省を昔から希望していたことや、大学で学んだ知識を活かすことが出来るため、毎日やりがいを感じています。私の今年の目標は「少しでも早く多くのことを学び地域に貢献する」ということです。入省したばかりでわからないことが多いですが、積極的な姿勢で学んでいき、少しでも早く仕事をこなせるように頑張ります。また、長崎県は初めてですが、昔から興味があったため入省一年目を長崎県で過ごせることに幸せを感じております。休日を利用して、五島列島や稲佐山等の観光名所を数多く巡りたいと思っております。



長崎開港450周年
SINCE 1571



国土交通省 九州地方整備局
長崎港湾・空港整備事務所



〒850-0961 長崎市小ヶ倉町3丁目76-72
TEL:095-878-5175 FAX:095-878-6734
URL: <https://www.pa.qsr.mlit.go.jp/nagasaki/>

フリーダイヤル おーいに よくなれ みなと
0120-497-370

最寄りの港湾・空港整備事務所につながります

長崎港湾・空港整備事務所の業務内容

当事務所では、重要港湾における国が行う港湾施設の整備（岸壁、防波堤、航路、泊地など）と長崎空港の土木施設（滑走路、誘導路、エプロン等）の整備を行っています。具体的には、施設を整備するための工事の発注や監督業務、工事を発注するための予算の要求などを行っています。また、海やみななどに関する相談、アドバイス、出前講座等を行っています。

※開発保全航路・・・国が開発及び保全を行う重要な航路のこと
長崎県内の開発保全航路・・・蝶蛾ノ瀬戸航路（じょうがのせとこうろ）
万関瀬戸航路（まんぜきせとこうろ）
平戸瀬戸航路（ひらどせとこうろ）

出前講座とは・・・？

出前講座では、職員が皆さんの職場や学校等に出向き港・空港について分かりやすく説明します。

